



みみよい

ごあいさつ

坪井 順子

さわやかな梅の香りがただよう季節となりましたが、地域によっては大雪の便りも聞かれる今日この頃。連日、熱戦が繰り広げられた北京での冬季オリンピックが閉幕しました。東京大会よりもはるかに厳しい感染対策が取られたと聞きました。これが、これもまた、コロナ禍での新たなルールとなるのでしょうか。制約された環境の中、感動のパフォーマンスを見せてくれた全ての選手に、心から拍手を送ります。パラリンピックでの選手の活躍も期待したいです。

一方、コロナの変異株が猛威を振るい、大阪でもまん延防止等重点措置が継続されています。いつ、誰がどこで感染するかもわからない、不安な状況が続いています。病院も発熱だけでなく、頭痛、鼻水等の風邪症状があれば、通常の診察とは分けているところが増えています。病院に行く前に連絡が必要です。また、風邪の諸症状がある人、コロナに感染している人、濃厚接触者には、対面での通訳者の派遣はできません。代わりにタブレットやスマートフォンを使ってのビデオ通訳をします。必要



なときに通訳をお使いいただけると、事前に接続し練習ができます。不安な方はセンターまでご連絡をお願いします。会いたいときに会いたい人と、自由に話ができる。もう少しガマンすれば、楽しい未来が待っていることを願ってやみません。

もじサロンを実施しました



12月17日、「わいわいおしゃべり会」を開催しました。

6月はオンライン開催だったのですが、今回はコロナウイルスの感染状況が落ち着いてきた時期だったので、会場でも実施できました。5人の方にご参加いただき、最終穏やかな雰囲気になりました。

「おしゃべり会」は、音声で文字にする要約筆記者のご協力のもと、聞こえを気にすることなく、おしゃべりを楽しむ企画です。今回は、当事者団体でも活躍されている小村 和子さんにお力添えいただき、年末年始にむけておせち料理やお正月料理・帰省をテーマにし、わいわいとおしゃべりできました。また、同じ難聴のなかまのためにも「文字をみながら話す」というルールにもご協力いただきました。最後に「平衡感覚が気になる」と参加者から話題が出され、若い時にくらべたら自転車の操作も危うい、足腰が弱

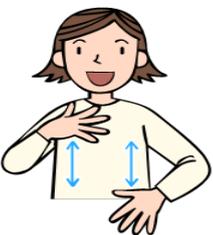
くなった気がするなど、「確かに聞こえも大きく関係しているけど、年もあるのかな：健康がやはり一番よね」とみんなで大笑いしたところでタイミングよく終わりの時間がやってきました。

今回、難聴者に進行をお願いしたことで、ゆったりと気兼ねなくお話しただけだと感じました。また担当としても、対面で話すことの良さを改めて感じました。司会の小村さん、参加者のみなさんありがとうございました。また次回も対面で実施できますように。

難聴者のための「コミュニケーション教室」

「難聴者のためのコミュニケーション教室」は、毎年センターの聞こえない職員が担当させていただき、実施しています。今年度はコロナウイルス感染拡大の影響で開講まで長くお待ちいただいた上、10回中4回しか実施できていなかったのですが、2人のご参加があり、どの回も楽しく進めることができました。コミュニケーション手段だけではなく、聞こえないならではの大きさもお互いに共有することができ、「早くマスクがとれる日がくる」といいね」といった話をしたのが印象的でも残っています。

来年度こそは、卒業生のグループ「あしべの会」さんとも交流が持てるといいですね。



保護者学習会を開催しました



1月29日、「聴覚障害児のリテラシー習得」をテーマに、金沢大学の教授、武居 渡先生をお呼びしました。武居先生は聞こえない親御さんがおられ、小さいときから手話に触れておられました。また、聴覚障害者との交流もたくさん持つておられます。ご自身のご経験、事例や研究されている内容など具体的にお話いただきました。

講演での大きな3つの柱は①わかり合えるコミュニケーションと他者への信頼感、②高い学力と言語力、③障害認識と自己実現。①については小さいときからコミュニケーションの楽しさを知り、「『わかる』ことがわかる」状況を作れるように、まだ発信力の弱い聞こえない子どもに届くよう、親(大人)が子どもに向ける矢印をのばしてあげることがとても効果的といったお話がありました。

②では、ITの大きな進化もあり、日本語の読み書きの力がしつかりあれば、聴覚障害者でも情報をつかみやすくなってきている一方、情報を解釈する力・今ある情報を活用する力を身に着けるには、受け身になるだけではなく自ら発信する力も必要とのことでした。ある学校では、先生が「ハリーポッター」の人間関係図を教室にさりげなく掲示しただけで、そのクラスの子どもたちが「ハリーポッター」の本を読破したという話もご紹介いただきました。子どもが言語習得に関して興味を持

ち、自ら楽しく動ける環境を作ってあげることにも重要なポイントになりますね。その他、みなさんにもご紹介したい話題もたくさんありました。年に1回はみなさんと一緒に、お子さんの言語発達や心理について学習できる場を設けていきたいと思っておりますので、興味がある方はぜひご参加ください。

「みみサロン」を開催しました

2022年1月19日に、聴覚障害をもつ医療従事者の会に所属されている聞こえにくい看護師の木下 三明さんに来ていただきました。

聴覚障害のある方の医療従事者はここ最近増えてきていますが、実は2000年ぐらいまでは「聴覚障害者には免許を与えない」といった欠格条項の壁があり、国家試験に受かる力が十分にあっても自分が希望する職業に就けないといったことがあります。その欠格条項の紹介から始まり、ご自身の生い立ち・現在の仕事の話など幅広く聞かせてくださいました。聞こえない方には、聞こえる家族とのコミュニケーションがうまくいかないケースが少なくないのですが、木下さんはかなり厳しい境遇の中で育ちながらも、看護師になりました。そして、病院で看護師として勤務されています。

現在のコロナ禍においては、当然のことながら木下さんが勤務される場所でも、マスクは必須。実際にコロナウイルスに患された方を看護することもあります。そこで、ご自身が聞こえないことをカバーするために目でよく見て判断されることから、患者さんをよく観察できる面があること

音声にこだわらず身振り手振りや筆談など他の手段も活用しているといった話もありました。また、「何ができない」と切り落とすのではなく、自分ができることをのばすことを意識されながら仕事をされたことで、現在医療職を志す学生や新人の指導もされています。木下さんのような方に看護されることは、特に同じ立場の方はとても心強く感じると思います。

現在医療従事者を目指す方も多くいるので、このような機会も近い将来増えていくのではないのでしょうか。そして、医療従事者をはじめ、聞こえない人が就くことのできる職業の幅が広がる世の中に早くなってほしいと強く感じました。木下さん、コロナ禍で大変お忙しい中、初めての講演を引き受けて下さり、ありがとうございました。

今回は会場とオンラインでの開催で、27名の参加がありました。会場での開催はコロナ禍になつてから、講演式の企画ははじめてだったように思います。顔を見合わせな



会場の様子

がら、参加していただくのもとてもいいのですが、参加者のスケジュールの調整がしやすい、コロナウイルスの感染の心配が少なくなるといったオンラインでの視聴のメリットも感想としてありました。センターとしても、新しい生活様式として、今後もオンラインでの開催も前向きに考えていきます。聞こえない方もぜひ、この機会にオンラインにも慣れていただければと思います。

嬉しいことに講師のご協力をいただくことができましたので、当日に収録した講演映像をDVDにして貸出します。興味がある方はぜひお申し込みください。

「ご利用ください」補聴器相談

「会話が聞き取りにくい」、「テレビの音が大きいと言われる」、「高い補聴器を勧められたらどうしよう」、「補聴器持っているけど合わない」。センターでは、4月・8月を除く毎月第2金曜日に「補聴器相談」を行っています。どんなことでもご相談ください!! ご家族からのご相談もお待ちしております。※事前予約が必要です。

公式LINEで情報発信しています

聞こえない・聞こえにくい方用の公式LINEで情報をお知らせしています。「お友達登録」していただくことで情報を受け取れます。詳しいことはセンターにお問い合わせください。

※聞こえる方の登録はご遠慮ください。

Net119の通報練習をしましょう!

Net119の利用登録をした方に、堺市消防局から案内をお送りしています。同封の「Net119ご利用ガイド」は携帯しておきましょう。また、「練習モード」で通報の練習をしておきましょう。

- ①「練習モード」を押す ②「救急」か「火事」を押す ③「自宅」か「現在地」を押す

The image shows three sequential screenshots of the Net119 app. The first screenshot shows the main menu with a red box around the '練習モード' (Practice Mode) button. The second screenshot shows the 'Net119通報(練習中)' screen with a red box around the '(練習中)の表示を確認!' (Check the display during practice!) message. The third screenshot shows the 'どこにいますか?' (Where are you?) screen with a hand pointing to the '自宅' (Home) button. To the right, a callout box shows a map with the text '「現在地」を押すと地図が出てきます' (Pressing 'Current Location' shows the map).

The image shows a screenshot of the Net119 app's emergency response screen. On the left, there is an illustration of a call center operator. The main screen displays a text input field and a '送信' (Send) button. A red arrow points to the '送信' button with the text: '⑤黄色のボタンを押したり、自分で入力して「送信」を押したりすると、自分の状況を伝えることができます。' (Pressing the yellow button or manually entering information and pressing 'Send' allows you to convey your situation.)

④「自宅」を押すか、「現在地」のあとの地図画面で「送信する」を押すと通報画面になります。「練習モード」は、実際には消防本部につながりません。安心して練習してください。

The image contains a graphic with the 119 Fire Department logo and a message: '通報中です... 消防本部の受理待ちです。このままお待ちください。' (Reporting in progress... Waiting for acceptance by the Fire Department. Please wait as is.) Below this, it says: '※消防本部が他の通報対応中である等の理由によりお待ちいただくことがあります。' (We may have to wait for you due to reasons such as the Fire Department being busy with other reports.) and '※万が一画面を閉じた場合は、消防本部があなたにメールを送信しますので、メールをご確認ください。' (If you close the screen by accident, the Fire Department will email you, so please check your email.)

手話奉仕員・通訳者養成講座

ようやく対面での講座に・・・

各区市民向け手話講座では、「学習のねらい」通り学習が進められています。家族の表現や数詞等を習い、受講者も教える講師も楽しそうです。手話通訳養成講座は、実践課程が修了。応用課程も3月の修了式のみとなりました。基本課程もあと数講座です。

要約筆記者養成講座

統一試験 お疲れさまでした

2年にわたる養成講座の最後の挑戦、統一試験が2月20日に終了。学んだことや培ってきた力を出せた人も出せなかった人も、ひとまずはお疲れさまでした。今は肩の力を抜いて、のんびりしてくださいね。

センターの行事

当日は、検温とアルコールでの手指消毒にご協力いただいております。体調不良の方は、ご参加をご遠慮願います。新型コロナウイルス感染症の影響や天候により、中止または延期となることがあります。

3月11日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※要事前予約

3月19日(土) 14:00~16:00

「みみサロン」 ※要事前申込

今年度も、行事はオンライン続きの1年でした。まだオミクロン株が猛威をふるっています。みなさま、どうぞご自愛ください。来年度こそは、笑顔で集えますように。

ビデオライブラリーのおすすめ

「世界遺産 超巨大！仁徳天皇陵古墳のナゾ 百舌鳥・古市古墳群 日本」

堺市にある仁徳天皇陵古墳は世界三大墳墓の一つと言われ、令和元年に世界遺産に登録されました。百舌鳥(もず)古墳群には、現在も44基の古墳が残っています。羽曳野市と藤井寺市にまたがる古市古墳群にも20基を超える古墳が残り、日本最大規模の古墳群なのです。

「天才！志村どうぶつ園 16年半ありがとう 園長と一緒に… 最終回スペシャル」

最終回は志村園長も一緒にスタジオにいるような演出で、レギュラー出演者と共に16年半の爆笑名場面を振り返ります。そして、2020年2月末にロケを行い、放送できずにいた志村園長最後のロケ映像を初めて放送。志村園長がチンパンジーのプリンちゃんに自転車の乗り方を教えます。

1月・2月の研修会は全てオンラインでの開催となり、YouTube配信も好評いただきました。ご参加くださりありがとうございました。

令和4年度継続登録者説明会は3/26(土)の予定です。

詳細は、別途ご案内いたします。封書が届きますので、ご確認願います。

頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済

- ・手話通訳者実技研修 1/18
- ・登録者合同研修 1/22 「12歳からの頭は自己責任？」
- ・要約筆記者研修 2/5
- ・要約筆記者遠隔通訳研修 2/10
- ・「盲ろう者手引き」研修会 (YouTube配信)
第1回 2/1~2/10、第2回 2/10~2/20
- ・手話通訳者実践研修 2/24 (ZOOM・YouTube配信)
「みんな知っとこ！
手話通訳・聴覚障害者に関する動向について」

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
12月	派遣数	176件	9件	21件	6件	7人	30本
	派遣人数	189人	16人	30人	21人	新規登録者：0人	
1月	派遣数	153件	17件	14件	5件	5人	16本
	派遣人数	156人	31人	15人	18人	新規登録者：0人	

